

## 学校と地域の協働実践セミナー 中南北地区研修会

平成29年9月28日(木)板柳町多目的ホールあぷる

参加者 24名

学校と地域の協働実践セミナー中南北地区研修会が、板柳町多目的ホールあぷるで開催されました。

今回は、講師に青森県PTA連合会事務局長 棚瀬 敏雄 氏を講師にお迎えして、「子どもは地域の宝～地域とが連携して子どもを育むために～」と題して、地域と学校の連携・協働が必要な理由や、ご自身の実践例などをご紹介していただきました。

### 子ども安全見守り隊連絡会について

棚瀬氏からは、「子ども安全見守り隊連絡会」を中心にお話をしていただきました。

なぜ、見守り隊連絡会設立か？

- ★不審者から子どもたちを守るため
- ★先生が多忙でなかなか見守りができない→地域住民の活用
- ★地域住民の学習成果の活用→生きがいの創出
- ★地域の教育力の向上

テーマと活動内容：地域ぐるみで安全・安心な地域づくり

長橋地区子ども安全見守り隊連絡会・パトロール隊による地域の見回り活動

◇パトロール隊（57名）の見守り活動

- ①通常 月2回（第1・3月曜日）
- ②強化月間 全国・県の交通安全運動10日間
- ③随時 TIDE（ついで）パトロール

◇協力隊の見守り活動（すべての住民）

- ①自宅の前で登下校の児童の見守り
- ②田や畑（仕事場）からの見守り

◇危険箇所点検パトロール（年2回）

- ①無積雪時：6月
- ②積雪時：1月か2月（道路、河川、ため池、堰、建築物など）

◇沿道足形設置（毎年1回）

- ①児童宅前の沿道に設置（全ての児童の自宅前の沿道・PTAと連携）



これらを行うことで、各種団体がそれぞれの目的と役割をしっかりと維持しながら、必要に応じて「できることを、できる範囲で」連携しながら活動を行うことで、「地域全体で子どもたちを育てようとする機運が高まってきていて、子どもたちも地域に対しての所属感・信頼感が以前にも増してきている。」と話されていました。

### 演習「地域学校協働活動の実際」

後半は、「地域学校協働活動の実際」というテーマのもと、今までの学校支援活動と地域学校協働活動の違いなどについて、社会教育センター職員が説明しました。その後、地域と学校が連携して子どもを育むためには、どのような活動ができるかについて、グループワークを行いました。

#### 【グループから出された活動案】

##### ○活動名「町歩きマップの制作」

ねらい 地元を知り、地域を愛する心情を育てる。

活動内容 まちの名所、商店等が記載された町歩きマップを作成し、それぞれを包装紙にして、地元の商店に活用してもらう。

##### ○活動名「学校田のお米を使った『おにぎらず』作り」

ねらい 地域資源の活用、食育を通して家族や地域住民との触れ合いを深める。

活動内容 収穫したお米を使ってのおにぎらず作り。  
材料は地元のものを使う。地域の人々と一緒に作る。

